

次世代

「次世代」を掲げた大企業は、省エネ製品と組み合わせる。研究グループ、関西電力、大省エネ製品と組み合わせる。大阪ガスなどの民間企業が参入し、通信機能を持つ電加する。ITを活用し、電力計によってそれぞれの電域全体の電力需給を調整する。気使用状況を管理する。事業所や公共施設などに送電る次世代送電網の実用化に

「持ち直しの動き」

府内経済情勢

1-3月 電気機械など回復

京都財務事務所が21日発表した1-3月の京都府内経済情勢報告は、「依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる」として、2期ぶりに判断を上方修正した。

生産活動は、1月の鉱工業生産指数が2005年の水準までほぼ回復するなど、電気機械や電子部品・デバイスを中心に持ち直している。個人消費は、大型小売店販売額が前年同月を下回る状況が続いているが、エコカー減税やエコポイント制度などの政策効果で乗用車や家電製品の販売が好調に推移している。

観光は、集客イベント

下の効果や中国などアジアからの観光客の増加を受け、京都市内での新規求人数が下げ止まっていることから緩やかな持ち直しの動きがみられる。一方、住宅建設は、雇用情勢は、企業側の雇用過剰感が薄らいでおり、新規求人数が下げ止まっていることから緩やかな持ち直しの動きがみられる。

大津財務事務所は21日発表した今年1-3月の滋賀県内経済情勢報告で「依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる」と総括判断し、景気判断を昨年4-6月期以来3四半期ぶりに上方修正した。

総括判断の指標となる項目別では、「生産活動」について中国向

太陽光 電気自

学研都市に集積する研究機関や企業の技術を生かしたい」と成果に期待している。

(甲賀史郎)

新設住宅着工戸数が前年同月を大幅に下回るなど厳しい状況が続いている。(吉永周平)

八幡の塾運営会社グリーンシート取扱銘柄に指定

日本証券業協会は21日、非上場企業の株式を売買できる市場「グ

3四半期ぶり上方修正

半期を下降とみる企業の割合が拡大しており、「企業の景況感」は下方修正した。また、「個人消費」は乗用車販売が前年を上回るものの、百貨店やスーパーなどの大型小売店では飲食料品や衣料品で販売額の前年割れが続いており、横ばいに据え置いた。

(高橋晴久)

業務情報を一括管理

業務効率化でコスト削減

リールシート」の取扱銘柄に学習塾運営のサンマエデュケーション(八幡市美濃山)を指定すると発表した。5月6日付。

京都府と滋賀県で同市場の銘柄指定を受けるのは、葬祭業の洛王

月桂冠(京都市伏見区)は、原料の購入から生産、出荷、財務、会計までの情報を一括管理する新システムの運用を始めた。業務を統合したシステムの導入は日本酒業界では初めてという。業務の効率化によるコスト削減や意思決定の迅速化を図る。

同社は従来、製造系、販売系、経理系でそれぞれ別のシステムを運用していたが、情報量の増加などからシステムが複雑化し、システム

セレモニー(京都市南区)、建設・不動産業の大生産業(野洲市)に続き3社目。

サンマエデュケーションは、2008年1月の設立で、資本金2千万円。八幡市や京田辺市をはじめ関東地方など33カ所で、小中高生向けの個別指導塾「SSS進学教室」を展開している。昨年12月期は売上高9700万円、経常利益60万円。

今年12月期は売上高2億円、経常利益2500万円を見込む。

指定後、新株850株を発行する。公募価格は1株3万5千円。主幹事はキャタリスト証券(那覇市)。(猪口健司)

日系企業連携へ中国で交流会

6月17日銀主催の京都銀行と滋賀銀行など香港に拠点を置く地方銀行17行は、6月4日に中国・広東省で

日系企業向けのビジネス交流会を開く。

香港や広東省に進出する企業に中国のビジネス環境に関する情報を提供し、日系企業のネットワーク拡大を図る。2007年に始まり、今年で3回目。

京銀や滋賀銀など17行の取引先企業130社が参加を予定している。

東京市場 (21日)	
◆円相場 (午後5時) 日銀調べ	
対ドル	93.23-93.25円 (0.39円安)
対ユーロ	125.25-125.29円 (0.09円安)
◆株式 (終値)	
日経平均	1万1090.05円 (189.37円高)
	987.07

は入を調り「り」2階力菜「花」の使。下京川東一写真一併判薬局薬局をオーに設けたフェ(はな)で、ハーブを提供する。



想定なスーパー